



知小だより

学校ホームページ : <https://www.shirisho.club/>

令和3年5月31日

知内町立知内小学校

学校教育目標

- ◎ 「あかるく」…徳育
- ◎ 「たくましく」…体育
- ◎ 「のびゆく子」…知育
- < ↑ 「地域の人々」…郷育 >

知小



子どもの成長をめざして

知内小学校長 池田 克己

木々の緑も次第に濃くなり、晴天の時には北海道らしいさわやかな季節をあちこちで感じることができるようになりました。運動会へ向け、体を動かすにはとてもいい季節となっています。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、北海道に緊急事態宣言が発令されております。そのため、学校では緊張感をもち、感染防止対策を徹底しながら運動会の練習を進めているところです。今年度は、運動会を何とか開催するために、様々なことを考えながら進めてきました。今後も当日までの状況を見て、変更すべきことを考えながら6月3日（1・3・5年）4日（2・4・6年）の運動会を迎えることとなります。今年度の運動会テーマは「コロナに負けず 最強の絆で運動会を楽しもう！」となっています。子供たちは短い練習の中で、このテーマを意識しながら、本番で達成できるようにがんばってきています。

ところで、学校ではなぜ運動会など普段の学習の他に大きな行事を行っているのでしょうか。それは行事を行うことが、子供たちの大きな成長につながっているからです。

人は設定した目標をたて達成するために多くのことを考え、計画し、試行錯誤しながら準備をしていきます。その過程で多くのことを体験し学んでいきます。

一つの例ですが、ホンダという自動車メーカーでは、本格的に自動車製造をする前から積極的にF1レースに参加しています。（先日、29年ぶりにモナコグランプリで優勝したそうです。）それは、創業者の本田宗一郎氏のレースに対する情熱もありますが、多くの人材を育てる目的もあったからです。本田宗一郎氏はレースを「走る実験室」と呼んでいたそうです。レースでは、車を走らせるためには、多くのテストを行いながら、出てきた不具合を短時間に修正しなければなりません。技術者は一般の車を作る時の何倍もの力を使って作業に当たっているそうです。技術を向上させるだけでなく、短時間に結果を出すためにみんなで知恵を出し合い集中して取り組むことで、ホンダには多くの人材が育っていたそうです。そのためかホンダの歴代の社長はレースに関わった人が多いそうです。

ですから、運動会へ向けての練習も同様です。子供たちは、自分が行う競技について、多くの動きを覚えなくてはなりませんし、ダンスやリズム表現などでは、上の学年が下の学年に教えたりしながら練習を進めなくてはなりません。そのような練習の中で子どもたちは精神的にも強くなり、もちろん身体的に強くなっていくのではないのでしょうか。そして、一致団結していく中で思いやりの心も育っていくことになると思います。

運動会当日には、4月の頃の子供たちとは違うたくましい成長の姿をたくさん見せてくれることでしょう。